

2017年12月10日（日）

主 題：「楽しみと喜びがついてくる」

－荒野と砂漠に花が咲く－

テキスト：イザヤ35章3－10節

はじめに

- ・ GPS という大変便利な器具が、もはや一般的となりました。
GPSの多くは「カーナビ」、「携帯ナビ」として知られ、「カーナビ」は全く初めて行く地には、大変便利なものです。出発前に目的地をセットすれば、自動的に音声と地図で導いてくれます。最近、多言語で説明があるGPSも出ていて、じつに便利なものです。
- ・ しかし、「カーナビ」は必ずしも100%正確とは言えませんね。道路事情の変化などによって、交通規則と道路状況が変化するので、それに合わせて随時ソフトを更新することが必要です。私はある時、「カーナビ」を信頼して進んで行ったら、一方通行の道路に出てしまったことがありました。もしその直進していれば、対向車に向い正面衝突を起こす危険がありました……。
- ・ しかし、神はそのようなGPSのようなお方ではありません。
神は完全なお方で間違いなく、目的地へ先導くださるお方です。私たちの人生で、人生の先を確実に示し導いてくれるお方は、間違いのない完全なお方、すなわち神です。そればかりではありません。神は目的地（天の御国）へ安全に導くお方です。その神が、ご自身がどんなお方であるかを現すため、一つの国を選ばれました。その国こそイスラエルです。神はご自身のご計画を、その民を通して現されました。それが神の「マスター・プラン」です。しかも、神はこの国と民をこよなく愛しておられます。
- ・ 今日のテキストであるイザヤ35章では、神がイスラエルにご自身のお心（意志）を表しておられます。それは紀元前（BC）8世紀ごろ、預言者イザヤを通し、イスラエルの将来に何が起こるか預言されました。ご存知のように、彼らは神に愛された選民です。しかし、神への不従順のため、イスラエルは敵国によって滅ぼされ、バビロン捕囚の身となると、預言されました。
- ・ しかし、「捕らわれ人」となっても、イスラエルには「希望の光」があることを預言されました。
⇒イザヤ書35章は大別して3点大切なポイントがあります。
①イスラエルの民の救い、②エルサレムの回復、③新しい天地の到来。
35:1 荒野と砂漠は楽しみ、荒地は喜び、サフランのように花を咲かせる。
35:2 盛んに花を咲かせ、喜び喜んで歌う。レバノンの栄光と、カルメルやシャロンの威光をこれに賜わるので、彼らは主の栄光、私たちの神の威光を見る。
- ・ 聖書は荒野と砂漠に、「サフランのように花を咲かせる」と語っています。
信じられないことです！サフランは紀元前からヨーロッパで、香料・染料として利

用されました。古代ギリシアではサフランの黄色が珍重され、王族だけが使うことを許され、ロイヤルカラーとされた時代もありました。

{日本へは江戸時代に薬として伝わった、と言われる。}

- ・ 「サフラン」は、めしべを乾燥させて、香辛料や生薬として用います。独特の香りを持ち、水に溶かすと鮮やかな黄色を呈します。乾燥させる際は、風通しのよい室内で陰干しにします。収率が低いため貴重で、1gあたり500～1,000円程度と高価である。これが「サフラン」で、神は荒野と砂漠に、「サフランのように花を咲かせる」と預言されました。

⇒これこそ喜びではありませんか！ 楽しみではありませんか！

- ・ 「**荒野と砂漠に花が咲く**」 ⇒ イスラエルの国の回復預言
イスラエルの地理的状况を考えてください。 北部のレバノン、中部のカルメル、地中海側のシャロンの土地は、農作物が実る豊かな肥沃な土地です。皆さん。荒野と砂漠が変貌して、レバノン、カルメル、シャロンの美しさと豊かさを持つようになるという。
 - ・ しかも神は、イスラエルはそれを見ると預言されました……。この預言は1948年の建国以来、部分的に成就しています。それ以前のパレスチナは、荒廃した砂漠（年間雨量50ミリ）、荒野（不毛の地）でした。しかし、世界に離散していたユダヤ人たちが、パレスチナ南部のネゲブの荒野（Negev desert）に戻って来ました。そこにはキブツ（イスラエルの集団農場）ができ、人々は砂漠の地に水を引き、作物を植え開墾しました。現在、ネゲブの荒野は「ネゲブ平野」と呼ばれ、緑と花に包まれています。そして、人々が定住し生活し、街ができ上がっているのです。
 - ・ イスラエルの初代首相であったベングリオン（Bengrion）氏は、「**イスラエルの将来は、荒野をどれだけ開拓（緑化）できるかにかかっている**」、と語りました。本当に信仰が求められたと思います。今、振り返ればネゲブ砂漠に、「**荒野と砂漠に花が咲く**」が実現しています。ですから、聖書は「喜びなさい！」と預言しました。それは神の栄光を見るからです。
- * 今日のテキスト、イザヤ書35で大切な3点を学びます。

大切なポイント

1. 神は励ましを与える

- ・ イザヤは神の霊を受け励ましのメッセージを与えました。
35:3 弱った手を強め、よろめくひざをしっかりとさせよ。
35:4 心騒ぐ者たちに言え。「強くあれ、恐れるな。見よ、あなたがたの神を。
復讐が、神の報いが来る。神は来て、あなたがたを救われる。」
- ・ 神は現実のイスラエルに呼びかけました。この御言葉は、離散したユダヤ人たち、国を失った民に与えられた神の言葉でした。彼らは絶望感、無力感、迫害、差別、落胆と多くのことを味わいました。しかし、「**神は来て、あなたがたを救われる。**」と預言され

ました。すなわち、イスラエルは国際社会において、失望を経験しますが、神の励ましがあるとされました。

- ・「強くあれ、恐れるな。」は、イスラエルが出エジプトして以来、神とイスラエルの関係でよく出てくる言葉です。神は常に、「強くあれ、恐れるな。」とイスラエルを励まされた。
- ・しかし、この神のみ言葉は、あらゆる時代に生きる人々に励ましを与えてくれるものです。ヘブル人への手紙の著者は、信仰のゆえに迫害を受けていたクリスチャンたちにこう語りました。

12:12 ですから、弱った手と衰えたひざとを、まっすぐにしなさい。

12:13 また、あなたがたの足のためには、まっすぐな道を作りなさい。足なえの人も関節をはずすことのないため、いやむしろ、いやされるためです。

- * 神の励ましの言葉を受け留めるには ⇒ 信仰が必要
預言の言葉を受け留めるには ⇒ 信仰が必要

2. 神は回復の約束を与える

- ・神はイスラエルの民に、天来の祝福を約束されました。しかも誰もが分かるように、物理的な変化を現すと言われました。
 - 35:5 そのとき、盲人の目は開かれ、耳しいた者の耳はあけられる。
 - 35:6 そのとき、足なえは鹿のようにとびはね、口の利けなかった人が喜び歌う。荒野に水がわき出し、荒地に川が流れるからだ。
 - 35:7 焼けた地は沢となり潤いのない地は水のわく所となり、ジャッカルの伏したねぐらは、葦やパピルスの茂みとなる。
- ・イザヤ書 29 章は次のように語っています。
 - 29:17 もうしばらくすれば、確かに、レバノンが果樹園に変わり、果樹園は森とみなされるようになる。
 - 29:18 その日、耳しいた者が書物のことばを聞き、盲人の目が暗黒とやみの中から物を見る。
 - 29:19 へりくだる者は主によっていよいよ喜び、貧しい人はイスラエルの聖なる方によって楽しむ。
- ・これらのみ言葉は、みな物理的回復が備えられ、荒れた地が再び祝福を受けるという預言です。約2千年前、イエスが来られた時、喜びがもたらされました。それは（イエスの初臨は）、やがてイスラエルに来る喜びの前味でした。
- ・喜びの日には、足が不自由な者が鹿のように飛び跳ねる、と言います。ジャッカルの伏したねぐらが、葦やパピルスの茂みとなる、と言います。ジャッカルという動物は、体長65～106cm、尾20～41cmほどで、オオカミに似ているが耳は大きく、体は薄い金色～黄褐色で、背と尾には黒色の毛が多い。平原や林に1～6頭で棲み、夜出て猛獣の食べ残しをあさるほか、ネズミやウサギなどを襲う。穴を掘るのが上手く、4～9匹の子を生む。そのジャッカルの住み家が、葦やパピルスの茂みとなるのです。

- そこには水が湧きだし、川が流れる⇒ 水は荒地で大変貴重なものです。イザヤ書 41章；

41:18 わたしは、裸の丘に川を開き、平地に泉をわかせる。荒野を水のある沢とし、砂漠の地を水の源とする。

- イスラエルは必ず回復する ⇒これが聖書の約束

* 神が介入されると、荒野も砂漠も神の栄光に包まれます。回復があり、そこに希望があるのです。

3. 神は祝福を与えられる

- このように、神を信じる者には、更に尊い祝福が約束されています。

35:8 そこに大路があり、その道は聖なる道と呼ばれる。汚れた者はそこを通れない。これは、贖われた者たちのもの。旅人も愚か者も、これに迷い込むことはない。

35:10 主に贖われた者たちは帰って来る。彼らは喜び歌いながらシオンにはいり、その頭にはとこしえの喜びをいただく。楽しみと喜びがついて来、嘆きと悲しみとは逃げ去る。

- 神の栄光が明らかにされると、世界は変貌する時です。そこには霊的な秩序が確立します。

- 3つのキーワード：①聖なる道、②贖われた者、③喜び歌いながら

1) <聖なる道>

<聖>は神の本性のひとつ、清く、正しく、一点のシミや汚れもない真っ白な状態のことです。しかも、他と比べられないほどの白い状態。天のシオン（エルサレム）へ通じる道は、「聖なる道」である。全地からシオンへ上る<聖なる道>があり、その道はただ神によって<贖われた者>だけが歩く道です。神は贖われた者たちのために、「聖なる道」を備えておられます。

2) <贖われた者>

原意は、『金を払って買い戻すこと』です。

- 土地の場合 レビ記

25:25 「もし、あなたの兄弟が貧しくなり、その所有地を売ったなら、買い戻しの権利のある親類が来て、兄弟の売ったものを買戻さなければならない。」

ルツ記

4:4 「もし、あなたがそれを買戻すつもりなら、それを買戻してください。しかし、もしそれを買戻さないのなら、私にそう言って知らせてください。あなたをさしおいて、それを買戻す人はいないのです。すると彼は言った。「私が買戻しましょう。」

- 奴隷の場合 レビ記

25:48 「彼が身を売ったあとでも、彼には買い戻される権利がある。

彼の兄弟のひとりが彼を買い戻すことができる。

25:49 「あるいは、彼のおじとか、おじの息子が買い戻すことができる。あるいは、彼の一族の近親者のひとりが買い戻すことができる。あるいはもし、彼の暮らし向きが良くなれば、自分で自分自身を買い戻すことができる。」

- ・金で買い戻すことができない場合 ⇒ 血で「復讐する」

申命記19:12 「彼の町の長老たちは、人をやって彼をそこから引き出し、血の復讐をする者の手に渡さなければならない。彼は死ななければならない。」

- ・このように「**購われた者**」とは、買い戻された者です。出エジプト

6:6 「それゆえ、イスラエル人に言え。わたしは主である。わたしはあなたがたをエジプトの苦役の下から連れ出し、労役から救い出す。伸ばした腕と大いなるさばきとによってあなたがたを贖う。」

- ・神ご自身が、失われた生命を血で買い戻された。イエス・キリストの「**購いのみわざ**」は、ここにあります。この「**購われた者**」に、天の御国に入る「**聖なる道**」が備えられているのです。

- ・しかし、「**購われた者**」にもうひとつの意味があります。

イザヤ35:10 「主に贖われた者たちは帰って来る。彼らは喜び歌いながらシオンにはいり、その頭にはとこしえの喜びをいただく。楽しみと喜びがついて来、嘆きと悲しみとは逃げ去る。

- ・ここで用いられた「**購われた者**」は、「**解き放つ**」という別の言葉です。

申命記7:8 「しかし、主があなたがたを愛されたから、また、あなたがたの先祖たちに誓われた誓いを守られたから、主は、力強い御手をもってあなたがたを連れ出し、奴隷の家から、エジプトの王パロの手からあなたを贖い出された。」

- ・イザヤは、「**購い**」をこのようにいろいろな角度から表現しました。

神は、失われた者の生命を、① 血によって買い戻し、② 敵の手から解放されるお方です。預言者イザヤは、35章において美しく歌い上げました。その讚美の歌声は、天にまで届きます。

- ・しかし、もっと幸いなことは「**購い**」という事実の深さです。神は一人子イエスを、この地に送られました。

⇒ それは、「**購いのみわざ**」を完了するため

ヨハネ黙示録

21:27 しかし、すべて汚れた者や、憎むべきことと偽りとを行なう者は、決して都には入れない。小羊のいのちの書に名が書いてある者だけが、はいることができる。

3) 「**喜び歌いながら**」

- ・ イザヤは次のように預言した。
7:14 それゆえ、主みずから、あなたがたに一つのしるしを与えられる。見よ。処女がみごもっている。そして男の子を産み、その名を『インマヌエル』と名づける。

「インマヌエル」（神は私たちとともにおられる）、クリスマスの預言です。

この預言の言葉の約800年後、イエス・キリストは誕生しました。正しく現実のこととなりました。インマヌエルが実現したのです。

- ・ 小羊イエスの血によって罪が洗われた者は、神の前に<購われた者>で、<聖なる道>を歩む者です。その者は、<喜び歌いながら>歩むものです。ハレルヤ！

{例 話} 「帰還ユダヤ人たちの姿」

1948年、イスラエルは聖書預言どおり建国した。ディアスポラ・ユダヤ人たちが順に、父祖の国イスラエルへ帰還し始めた。そして、1989年11月9日 ⇒「ベルリンの壁」が崩壊しました。それから、歴史は大きく動き、現在に至るまで続いています。

- ・ ソ連・東欧からだけでも百万人以上のユダヤ人が、
⇒イスラエルへ帰還しました。
私は帰還ユダヤ人たちが、テルアビブ空港で、又ハイファの港で、地にひざまずき口づけしている姿を見た。感激！
- ・ この姿は、神を信じる私たちもやがて天のエルサレム（シオン）に戻る日が来ることを示しています。私たちも、新しい天と新しい地に入るその日、喜びに包まれます。ですから、弱った手を強め、よろめく膝をしっかりとするよう、主に求めましょう。
- ・ クリスマスは、すぐそこにやってきました。全人類の救い主イエス・キリストの誕生を、私たちは喜びと感謝をもって迎えようではありませんか。

ま と め

主 題：「楽しみと喜びがついている」

—荒野と砂漠に花が咲く—

- ・ 神はイスラエルが不従順な民であるにも関わらず、イザヤを通しメッセージを与えてくださいました。それは「神の祝福」です。イザヤ書35章は、神の祝福の約束です。
- ・ 今日、私たちは第二アドベント聖日を迎えました。イエス・キリストの誕生は、「楽しみと喜び」をもたらします。神を信頼する者には、すばらしいメッセージが贈られました。
 1. 神は励ましを与える
 2. 神は回復の約束を与える
 3. 神は祝福を与える

*God bless you!